

高萩市公共施設等管理計画 再改訂版（案）（概要）

この写真はどこの施設・橋だと思いますか？

公共施設



インフラ施設



こちらの写真は、**築54年の中央公民館(解体予定)**と**築60年の新磯馴橋**です。

中央公民館は建物の老朽化により、令和6年(2024年)から総合福祉センターへ機能を移しました。

また、新磯馴橋は昭和40(1965)年に関根川の河口付近に架けられた橋です。市内の多くの橋は1960～1990年代に建設されており、これから老朽化が一気に進んでいくと考えられるため、定期的な点検や補修を行い、安全に利用できるよう努めています。

高萩市では1970年代から80年代にかけて、増加する人口に対応するため、たくさんの公共施設が整備されました。それらの施設も現在では築30年以上が経過し、適正に施設を更新する必要があります。



老朽化した施設は、市民の生命と財産を脅かす危険性があります！

しかし、近年の物価高騰により施設の更新・維持管理費用が大幅に増加しています。加えて、人口減少や超高齢化が進む中で、市の財政状況も大変厳しいものとなっています。



すべての施設を更新・維持するためには膨大な費用と時間がかかるため、優先順位をつけながら計画的に進めていく必要があります。

そこで、限られた財源の中で適切な老朽化対策を行うため、令和2(2020)年度に高萩市公共施設等管理計画 改訂版(以下「令和2年度管理計画改訂版」)を策定しました。

今回、令和6(2024)年度で第1期の前期が終了したため、内容を見直し、新たに再改訂版として取りまとめました。



増えすぎてしまった施設を現在・未来の人口規模にあった適正な量にすることで、高萩市の財政規模の中で適切に施設を維持・管理するための計画です。

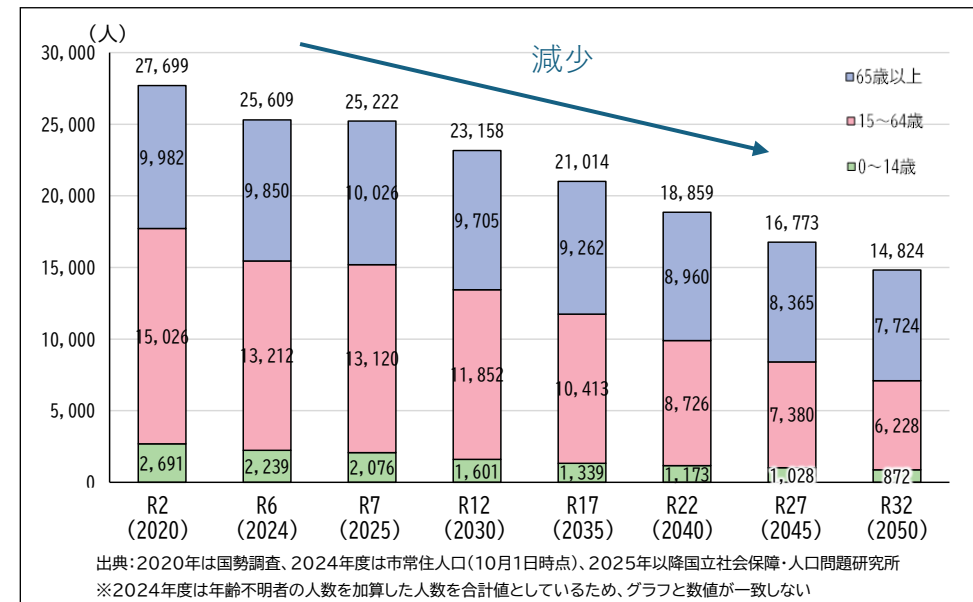
公共施設を取り巻く高萩市の現状

● 人口状況

人口減少は令和2年度管理計画改訂版の予測を上回るペースで進んでいます。

特に働き手となる年齢の人口が減ることで、市民税の収入も減少し、財政状況はさらに厳しくなります。

<総人口の将来予測>



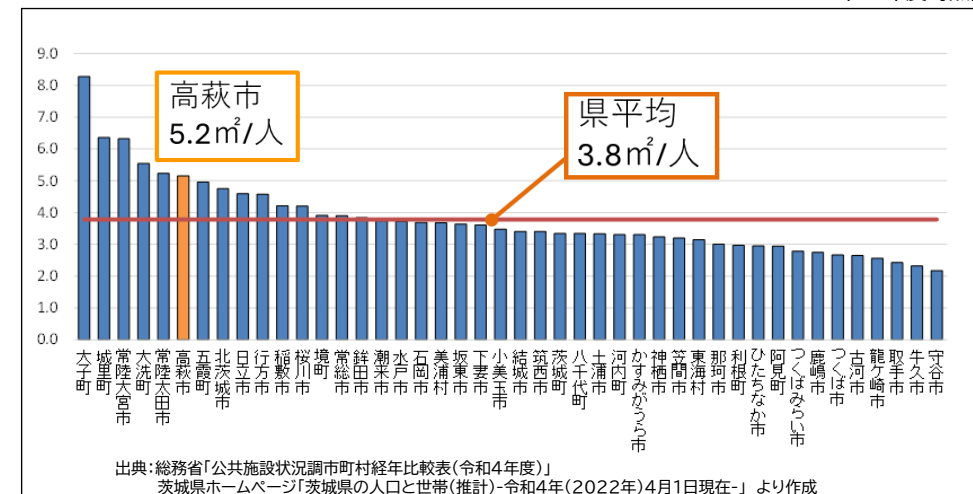
● 施設状況

主な新しい施設は集約化を伴う認定こども園の建設で、施設の保有面積の削減が着実に進んでいます。

一方で、人口減少に伴い、**1人当たりの施設面積が県平均より多い傾向にあります。**

<行政財産一人当たりの面積>

(R4年度時点)



● 財政状況

公共施設の更新に充てられる費用は**4.1億円/年**です。

しかし、現在の公共施設をすべて維持すると**平均20.6億円/年(40年総額:822億円)**必要となります。

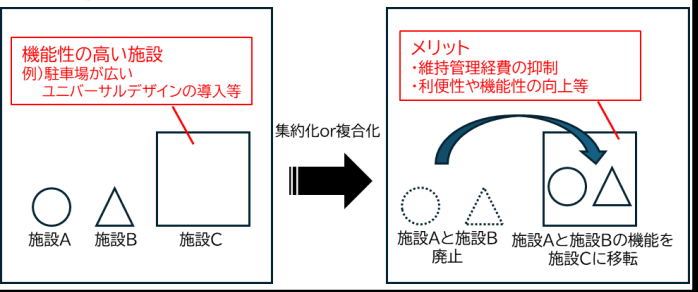


ただし、公共施設の集約を図っても**平均6.7億円/年(40年総額:368億円)**が必要となるため、更なる対策(新たな収入の確保、支出の削減)が必要となります。

これまでの主な取り組み

- 老朽化した中央公民館は総合福祉センターに機能移転し、利便性(全館バリアフリー、駐車スペースの増加等)が向上しました。
- 市営住宅は老朽化した施設(萩ヶ丘住宅6棟、坂東塚住宅4棟)を解体しました。
- 老朽化した保育所・幼稚園を廃止しました。
⇒ たかはぎ認定こども園を新設し、保育所や幼稚園(計5施設)をひとつにまとめました。

再編によるメリット



今後の主な取り組み

- 高萩市の公共施設は学校施設と市営住宅で全体の6割以上を占めるため、学校施設と市営住宅の再編が不可欠です。
- 学校施設: 人口減少に伴う児童生徒数の将来的な減少を見据えて、段階的に小中一貫化を進め、3つの地域(高萩・秋山・松岡)と連動した公共施設の再編を実施します。また、学校再編に合わせてコミュニティ施設の機能集約を進めます。
 - 市営住宅: 令和4年度時点において、茨城県内で保有量が最も多いため、県平均を目指します。



今後の主な取り組み 具体例)

● 学校施設

小学校4校、中学校3校 計7校あります。

秋小	高小	東小	松小
秋中	高中	松中	

学校までの距離が長くなる場合には、路線バスやスクールバスでの通学を考えています。

高萩及び東小学校、高萩中学校をひとつにまとめます。

施設分離型 小中一貫教育	高萩 小中一貫教育	施設分離型 小中一貫教育
秋小	高・東小	松小
秋中	高中	松中

すべての小学校・中学校をひとつにまとめるための集約化を検討します。

施設分離型 小中一貫教育	高萩 小中一貫教育	施設分離型 小中一貫教育
秋小	高・東小	松小
秋中	高中	松中

すべての小学校・中学校をひとつにまとめます。

高萩小中一貫校(義務教育学校)

秋山	高・東・松・秋小 高・松・秋中	松岡
----	--------------------	----

コミュニティ施設
秋山

コミュニティ施設
松岡

秋山小・中学校のどちらかをコミュニティ施設にします。

松岡小・中学校のどちらかをコミュニティ施設にします。

● コミュニティ施設

集会所・生活改善センター・公民館・その他コミュニティ施設 併せて47施設あります。

生活改善センターが集会所に一元化されます。

公民館は令和8(2026)年度で廃止予定です。

集会所・公民館は常設区ごとに1施設とすることを当面の目標とし、段階的に集約・廃止の検討を進めます

● 市営住宅

市営住宅は7施設(全37棟)あります。

	2024年 (10月1日現在)
人口	25,609人
延床面積	45,500㎡
1人あたり延床面積	1.8㎡/人

住替え及び用途廃止を行い、4施設(全30棟)を目指します。

住替え及び用途廃止を行い、3施設(全26棟)を目指します。

住替え及び用途廃止を行い、2施設(全9棟)を目指します。
※県平均0.5㎡/人を目指します。

	2045年 市営住宅を県平均延べ床面積と同等にした場合
人口	16,772人
延床面積	9,100㎡
1人あたり延床面積	0.5㎡/人



本計画は40年後の未来を見据えた計画です。市民の生命と財産を守るために人口規模に合わせた適正配置・適正保有量を目指します。
施設を減らしても、集約化・複合化することで、機能を減らすことなく利便性の向上や機能の充実を図ることを目標としています！

面積の目安となる施設

市役所
約6,000㎡